**厚生労働省「中高年者縦断調査」（第1回～第8回）用**

**パネルデータ構築マニュアル[[1]](#footnote-1)**

小林徹（高崎経済大学）

深堀遼太郎（金沢学院大学）

目次

[**1.** **パネルデータ構築** 1](#_Toc420681383)

[**1.1** **パネルデータ構築の手順** 1](#_Toc420681384)

[**1.2　パネルデータと変数対応表について** 2](#_Toc420681385)

1. **パネルデータ構築**

厚生労働省「中高年者縦断調査」（第1回～第8回）は、提供された段階では、固定長形式のTXT方式のデータとなっている。このデータを、統計ソフトStataを用いれば容易に分析可能なデータ形式へと変換する。このデータ構築プログラムは、Stata用に作成している。パネルデータの構築には、以下の手順を踏む。

* 1. **パネルデータ構築の手順**

**❒準備**

コンピュータのCドライブに配布ファイル「LSM21」を直接置き、解凍する。この中には、提供している構築ファイル一式が収められている。構築作業にあたっては、「中高齢者縦断調査」の個票データ（TXTデータ）を、内部の「data」フォルダに直接置けば準備完了である。

※個票データ（TXTデータ）のファイル名が「h24\_alldata\_chukou」になっていることが必要となる。

**❒データの読み込み・結合**

「do\_h24\_alldata\_chukou.do」を実行する。

「do\_h24\_alldata\_chukou.do」のファイルは、下記の工程を一括して行う。

①データを変数ごとに区切るのに使用するdicファイル「h24\_alldata\_chukou.dct」とラベリングに使用する「label\_h24\_alldata\_chukou.do」を起動する。

②個体ID番号を付与する。

　　③「ren.do」を起動し、調査年共通変数へ変数名を変換する。

　　④WIDE形式からLONG形式へ変換する。

　　⑤「ren2.do」を起動し、調査年共通変数の変数名修正を行う。

　　⑥「label\_h24\_alldata\_chukou\_panel.do」を起動し、変数にラベルを付与する。

　　⑦「h24\_alldata\_chukou.dta」として、構築が完了したパネルデータを保存する。

**❒パネルデータが完成する。**

## **1.2　パネルデータと変数対応表について**

1. 構築されたパネルデータの変数と調査項目との対応関係については、「h24\_alldata\_chukou\_varlist.xlsx」の「Long形式パネル変数一覧表」というシートを参照されたい。変数番号の付与ルールは、調査票の質問の順序にほぼ準拠してある。途中から追加された質問項目は、基本的に追加後の順序通りになるよう配置しているので、調査票も参照させながら探すと探しやすいはずである。
2. パネルデータとしての各変数の注意事項は、同シートの備考欄を確認されたい。主に変数の継続性に関する注意事項を記載している。また、変数番号の付与ルール（表中での配置ルール）に例外が生じ、注意喚起が必要と考えられるときも、その旨を記載している。
3. 各年の変数の符号の意味等については、同ファイルの「各年調査変数の符号内容」というシートを参照されたい。このシートでは、変数の符号について、各年の情報をまとめてある。

1. このマニュアルおよびパネルデータ構築プログラム一式は、政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）に採択され、厚生労働科学研究費補助金を受けた「就業状態の変化と積極的労働市場政策に関する研究」の成果物の一部として、作成したものである。なお、本プログラムの利用により生じた損害については、いかなる場合であれ、本プログラム作成者である小林、深堀をはじめとする本研究プロジェクト関係者一同は一切責任を負わない。この点を了解の上、自己責任のもと利用されることをお願いする。 [↑](#footnote-ref-1)